



マスク越しのおはよう

やまもと えつこ
山本悦子作

たなか みほ
田中海帆絵

こうだんしゃ
講談社

ちゅうがくいちねんせい
中学一年生のわたし、千里子はマスク歴三年。インフルエンザをきっかけに、いつもマスクをするようになった。つける力がわいてくる、魔法のアイテムなんだ。卒業式の練習で、マスクを外すよう指示されたけど、わたしは外さなかった。そんなわたしを、友だちの茉里奈が、陰であんなふうに言うなんて。マスクを外すくらいなら、学校なんてやめる。そう決めたとき、全国の小中高校が臨時休校になった。コロナ禍で葛藤する五人の中学生を等身大に描いた連作短編集。

